

# 東村山 生活者ネットワーク

政治は生活を良くする道具  
日々の暮らしからの声と市政をつなぐ

## 3.11を忘れてはいけない

未来への警鐘として



市議会議員  
大塚恵美子



市議会議員  
白石えつ子

多くの人に忘れられない日となった2011年の東日本大震災。9月2～3日東京ワーカーズコレクティブが主催する7回目となる被災地訪問で震災後7年の宮城県を訪れた。



ホテル観洋の語り部ガイド 伊藤さん

### 震災前には戻らない

2015年3月に再開した石巻線、終点の女川駅とそこからつながる商店街はきれいだが、かつてあったであろう風光明媚な漁村の姿、地域色の豊かさは感じられない。かさ上げされた土地や切り崩された山、そばえたつ連絡道路など安全をどこまで追求した

らよいのだろうかと思う。一瞬で人口1万人のうち827人を津波にさらわれたまちは石碑を建て、子孫に伝えていくことを始めた。小高い山の裾野に残された荒廃した大川小学校。女性が最期まで避難を呼びかけた鉄骨だけの防災庁舎。地域の避難所となったホテル観洋。たくさんの高齢者の命が

コミュニティスペースうみねこの八木純子さんは、海風で育ったイチジクや唐辛子の特産品にし、海をあきらめた漁師、残された若者や女性の収入に繋げている。震災後、子どもの心のケアが行き届かず、多くの若者が心を病んでいる。熊本地震後は熊本の本で作った箸の収入でカウンセリング支援をする。ウイメンズアイは女性がいきいきできるよ

救われた高野会館。画面の中の出来事が訪れたことで一気に身近になった。市民や企業が民間震災遺構として傷跡を残そうと努力するなか、行政が撤去を進めるのは、記憶の風化を早めるのではないかと心配だ。

自分たちらしく生活をとりもどす人々

う、シェアする工房「パン・菓子工房(WEI)」。の運営や人材育成に取り組んでいる。練り物製品製造の高橋徳治商店は高台に移転し、震災によるPTSDなどでひきこもる人が自分のペースで働くことができる野菜加工場を始めた。負債も増えたが、高橋家の若い世代も家業を継ぎ、いろいろな立場の従業員がいることで相乗効果がでている。



上:1000年後の人々にも伝える「いのちの石碑」21基のひとつ  
下:左から女性の起業支援をするウイメンズアイ事務局長・栗林美知子さん、白石えつ子、桑原りさ

人間が復活できることは全く別のことだ。人と人とのつながりが傷ついた心に春を導いている。しかし地元企業の頑張りだけでは限界

だ。若者がそこで暮らし続けられる仕事や仕組みを国が作る必要がある。頻発する豪雨に加え、大地震も懸念されている。ハザードマップの活用で地域を知り、減災・災害リスク削減が可能だ。自ら備えをするうえで、共助・近助ができる関係づくりも欠かせない。命を守る取り組みは市民の連携がカギだ。

東村山生活者ネットワーク事務局長 桑原りさ



市議会議員

# 大塚恵美子

詳細はこちら

<http://otsuka.seikatsusha.me/>

twitter: @otsukaemiko

Facebook: emiko.otsuka.186



# 9月 東村山市議会報告 生活者ネットワーク一般質問より

市議会議員

# 白石えつ子

詳細はこちら

<http://shiraishi.seikatsusha.me/>

Facebook: 白石えつ子



**障害児支援の提供体制の整備に向けて**

国の基本方針では「児童発達支援センター」を2020年度までに各自治体に設置することとされている。障害児に対する重層的な地域支援体制を構築するために必要な中核施設だ。市の障害児福祉計画には「30年度から検討」とされ、答弁によると潜在的な利用者を443人と想定しているとのことだ。市内には地域の特性として専門性をもつ事業者も多く、子ども相談室も機能し療育の施設にもつなげ、切れ目のない支援は、医療・教育・福祉が一体となって取り組んでいるいきいきプラザ全体において完結をして

いる、との答弁には、療育の通園施設の不足に悩みをもつ子どもや事業者のニーズの把握がない。「地域の特性、実情を踏まえ慎重に検討していきたい」との消極的な姿勢は残念だ。先行し、18歳までの支援をワンストップで進めてきた自治体との差はさらに開きそうだ。

外出が困難な難病や重度の障害児、在宅の医療的ケア児（20人）に対し新たに創設された「居宅訪問型児童発達支援」については現時点では必要性は低いと認識している。この子どもにも学び、生きる権利があること

高年齢化率26.7%、介護が必要な高齢者は600万人を超え、その7割を家族がケアしている。ケアラーとは無償の家族介護者だ。家族のだれかをケアすることで時間的制約を受け、不安や孤立感を抱えているとされる。成蹊大の調査で18歳以下の子ども・若者（ヤングケアラー）が介護の35%を担っていることが報告されている。

東村山市では家族介護者教室で介護技術の向上を講習し、悩みを話し合い、ケアラーの心理的不安の軽減を図る集い（市内3カ所）を開き228人が参加した、との

答弁が、厚労省が7月に出した「家族介護者支援マニュアル」の活用では、地域包括支援センターを支援の中核とする、との丸投げに近い答弁であり、基礎調査では介護離職について回答者371人の30%が両立困難を訴えても、具体的な支援策や制度や情報の発信が充分でないことが明らかになった。年少者の育児や障害のある家族のケアをしているヤングケアラーの不登校や貧困についてのトータルな実態調査の提案は退けられ、具体的な施策は講じられないままだ。ケアラーの人生のための支援を！

「高齢女性インタビュー」を行い、多くの女性に家庭を切り盛りしてきた自負はあるが、性別役割分業の固定化に不満があること、自由にできる年金や財力によって自立度・自由度に差があることなどがうかがえた。つれあいを亡くされた女性の多くは伸びやかに人生を送っているが、健康上の不安、社会保障上の不安は残る。こういった制度の再構築に女性の視点・発想が必要だ。

我が国のジェンダーギャップランキングは世界第114位。組閣の様子やセクハラ、パワハラ横行を見ても、国は論外、あてにならない。候補者男女均等法の実効性向上や地域発の両立支援型モデルへの転換を進めなければと思う。急げ！（大塚恵美子）

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員はローテーション ■ 生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験を生かします。

2 議員報酬は市民の活動資金に ■ 議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。

3 選挙はすべて手作り ■ 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

カンパで応援隊 募集中！ カンパ1口1,000円 郵便振替 加入者名/東村山 生活者ネットワーク 記号:00190-7 番号:280305 会員・賛助会員 募集中! TEL/FAX 042-392-7677

## 国の障害者雇用水増し問題について

今回の国、一部の地方自治体による障がい者の働く機会を奪う行為は、人権侵害に他なりません。

東村山市では、雇用数は身体障害者のみで21名。内訳は国の法定雇用水増し（2.5%）に対し、市長部局16名（2.53%）、教育委員会同（2.4%）に対し5名（3.14%）で法定雇用水増しをクリアし、水増しはありませんでした。

共に働けば、お互いに気づけることがあります。今後は知的や精神の雇用の実態も作ることで、障がい者と働く意味や理解につながるよう要望

## 医療的ケアが必要でも、共に学ぶ場を

医療技術が進歩したことで、日常的に痰吸引や胃ろうなどの医療行為が必要ですが、社会のしくみはまだ追いついていません。東村山市には、医療的ケア児は20名（人工呼吸器装着児3名）あり、私立保育園では、1名受け入れ、看護師も雇用されている実例もありました。

文科省による「学校における医療的ケアの実施に関する検討会議」中間まとめの通知では、学校に共通する重要事項のガイドライン

等策定などの必要性が盛り込まれました。専門性のある教員や設備が整っている特別支援学校の選択肢だけでなく、どんなに障がいがあっても、対象児童が通園・通学を希望した場所で、一緒に学ぶ環境への配慮がされるよう今後も働きかけていきます。

香害による苦情はないとのことでしたが、順番に使う小学校の給食の匂いが取れず困っている子もいます。実態調査をするべきとの質問には、検討するとの答弁でした。

知らない間に香りが誰かを苦しめている可能性があるり、子どもは許容量が少ないため保護は急務です。ポスター等で啓発を促してはの問いには、柔軟剤などの毒性等が科学的に証明されていないが、まず知ってもらうよう働きかけていくとの答弁でした。加害者にも被害者にもならないようひとり一人が香害の危険性を意識していきましょう。

ご存知! 都内自治体ジェンダー平等ランキング

東京・生活者ネットワークのジェンダープロジェクトが10月17日に「都内自治体ジェンダー平等度調査・ランキング」を発表。この夏、私もプロジェクトメンバーとして「高齢女性インタビュー」を行うとともに、自治体調査を行った。そのランキング結果が、朝日新聞、東京新聞などに掲載された。

全ての政策をジェンダーの視点で見直すことを主眼にジェンダー・ギャップ度を調査し、男女平等政策取組みの推進は豊島区が第1位、そして東村山市は31位となった。

女性議員比率は41.7%と高く、2006年に施行された男女共同参画条例はあるが、女性センターなし、女性管理職10%、男性職員の育児休業取得率0%、男女混合名簿小学校73%・中学校0%のあたりが低迷の証といえるかも。パリティ（同数・均等）からはほど遠い現実。

「高齢女性インタビュー」を行い、多くの女性に家庭を切り盛りしてきた自負はあるが、性別役割分業の固定化に不満があること、自由にできる年金や財力によって自立度・自由度に差があることなどがうかがえた。つれあいを亡くされた女性の多くは伸びやかに人生を送っているが、健康上の不安、社会保障上の不安は残る。こういった制度の再構築に女性の視点・発想が必要だ。

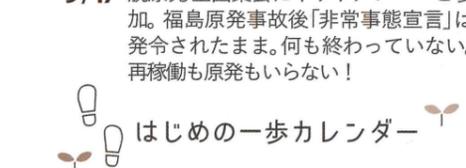
我が国のジェンダーギャップランキングは世界第114位。組閣の様子やセクハラ、パワハラ横行を見ても、国は論外、あてにならない。候補者男女均等法の実効性向上や地域発の両立支援型モデルへの転換を進めなければと思う。急げ！（大塚恵美子）



9/2.3 宮城県の被災地訪問に参加。元女川町立病院の2階まで津波が押し寄せた現場に立ち、津波の威力、恐ろしさを知った。



9/17 脱原発全国集会にネットメンバーと参加。福島原発事故後「非常事態宣言」は発令されたまま。何も終わっていない。再稼働も原発もいらない!



はじめての一步カレンダー



9/22 生活クラブ版地域福祉計画策定のワークショップ。課題を解決するにはこんなしくみがあったら、みんなが暮らしやすいまちになるね、様々な意見を出していました。



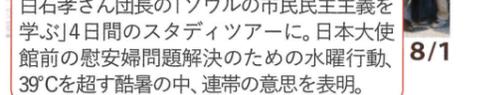
10/4 「社会的養護から果立った若者を応援する地域へ」シンポジウムに参加。当事者に寄り添う伴走者も支援するしくみづくりを社会全体で取り組む必要性を感じた。



10/13 たすけあいワーカーズぼけっとの地域の集いに参加。手話を交えた「いのちの理由」や、三線演奏による唄など、盛りだくさんで、みんな元気になった時間でした。



白石孝さん団長の「ソウル」の市民民主主義を学ぶ4日間のスタディツアーに。日本大使館前の慰安婦問題解決のための水曜行動、39°Cを超す酷暑の中、連帯の意思を表明。



8/11 辺野古を埋め立てないで！急逝された翁長雄志知事の思いを東京でも継ぐ、と池袋での集会とパレード。玉城デニー・新沖縄県知事を誕生させた沖繩のまっとうな民意に敬意を。



8/11 辺野古を埋め立てないで！急逝された翁長雄志知事の思いを東京でも継ぐ、と池袋での集会とパレード。玉城デニー・新沖縄県知事を誕生させた沖繩のまっとうな民意に敬意を。



まちカフェ日記



9/23 東村山駅西口「てんしゃばフェスタ」に、東村山エナジーが参加。自転車発電とともに、初お目見えの「発電屋台・びかっしー」に人気集まる。地産のエネギーづくり、楽しい!



10/13 決定権のある場所に「パリティ=同数・均等」を。「PARITE CAFE BAR」デポ-東村山で開店。千田有紀さん（武蔵大教授）をゲストに、呑みながら、日常のジェンダーギャップを多に語る宵、楽しい。



10/16 第七中学校でのいのちの授業「赤ちゃん登校日」を実施。市内の助産院BLBホームの川野助産師のハートフルな講話のあとは、参加された30人の赤ちゃんを抱っこする3年生、笑顔ほころぶ!

# 憩いの家 百条委員会設置に

## 反対を表明

9月議会は、29年度決算特別委員会を含め長丁場となった。歳入歳出の推移の中で、財政の健全化に向けた努力、生活福祉課の奮闘は評価するも、どの施策もおもしろみにかける万全策であり、「ゆりかごひがしむらやま」のような出産前からの妊産婦、子育て支援の取組みや障害支援に物足りなさが残る。

決算全体には悩みながらも会派として「賛成」を表明したが、30年度予算委員会で明らかとなった市内4か所の高齢者施設「憩いの家」運営業務委託の問題が決算委員会でも議論となった。

社会福祉協議会への業務委託から、25年に入札によって民間事業者へ委託先が変わった「憩いの家」。その後、毎年、委託費が増額となり、答弁が不明瞭なため、予算委員会が紛糾し、入札のあり方、管理責任が問われ、予算案が撤回され、再提案となった。30年度は委託を止め、直営で運営すること、事業者は3か月の指名停止処分、市長、副市長は管理責任をとり1か月の減給処分が講じられた。

契約時の仕様書履行が充分でな



く、防火管理者が未設置だったことも明らかになり、管理不行届き、信頼の失墜を猛省し、今後の公民連携、包括管理委託などに緊張感をもった厳格な事業執行が求められる。

議会も6年近く、「憩いの家」運営業務委託の不作為に気付かず、チエック機能の甘さが露呈したといえる。

閉会日に、急遽8人の議員によって地方自治法の規定による「百条委員会 憩いの家運営業務委託問題」に関する調査特別委員会」の設置提案が動議として出された。

議事日程に追加することを同意し、提案者に質疑を行った。事前に提案理由の説明の努力もされず、事務局に依存するような曖昧な表現が見受けられた。証人喚問によって刑事罰の可能性をも生じさせる委員会設置には議会の総意に向けた合意形成が大事だと考える。議論を尽くすことなく、僅差の意思決定での百条委員会設置は最良とはいえず避けるべきであるとの判断から反対の意思を表明した。

(大塚恵美子)

## 9月18日 生活クラブ運動グループ東村山地域協議会主催の 憲法のおはなし「檻の中のライオン」 へ参加しました。

定員20名の会場は満席でした。講師の椋大樹(はんどうたいき)さんは1975年広島県生まれ日弁連所属の現役弁護士です。

権力を「ライオン」、憲法を「檻」にたとえ、パペット(ぬいぐるみ)を使いながら、日常使っている言葉で分かりやすく話をしてくれました。

憲法と聞くと難しそうでつい身構えてしまいませんか?

ボクも含め多くの人は憲法をぼんやりとしか捉えていないような気がします。

でもおはなし会では憲法は日常である事、またどのように付き合えば良いのかを分かりやすく話してくれたので身近な物に感じる事ができました。

今の政権を見ると、嘘・改ざん・隠蔽などが当たり前のように行われています。それを報道が伝えても私たち国民に知識がないため、また敬遠しがちで放置されているのが現状ではないでしょうか。政治家(ライオン)が憲法(檻)の中できちんと仕事をしているか、また檻を破っていないか注

目する事は私たちの生活に直結する大切な事です。毎日に重ねてみると、たとえばピンチハンガーが壊れた時と同じで、壊れたら(おかしくなったら)修復しなくてはならない身近な物の一つなのです。

椋さんの著書「檻の中のライオン」は一部が中学校向け公民の副教材資料に掲載されていたり小学校の授業にも採用されているそうです。出来ればこの本丸ごと教科書として取り入れたら素晴らしいと思いました。内容は、日常的な言葉と可愛いイラストで判りやすく解説されているので、子どもにも大人にも憲法を学ぶにはうってつけだと思います。「檻の中のライオン」一家に一冊置いて気になった時はパラリとめくりましょう♪絵本「おりとライオン」もお勧めです!

(モーリー・富士見町)



日時:2019年1月27日(日)  
午後2時~5時

場所:東村山サンパルネ  
コンベンションホール

アクセス/ 西武新宿線・国分寺線  
東村山駅西口直結

資料代:500円(子ども・学生無料)

— 予約・お問い合わせ —

TEL・FAX 042-392-7677  
東村山・生活者ネットワーク事務局



フォトジャーナリスト  
豊田直巳さん

東村山市在住。  
日本ビジュアルジャーナリスト協会(NJA)会員。  
映画「遺言 原発さえなければ」「奪われた村」監督。

近著紹介

写真絵本シリーズ

それでも「ふるさと」全3巻  
(農山漁村文化協会出版) 各2000円



# 「奪われた場所 イラク、フクシマ」